

# PACガーディアンズ通信

## PAC-Guardians

第6号

2009年1月31日

理事長 佐藤彰一より

みなさま、2009年になりました。私どもの活動も2005年から数えて実質5年目に入ります。拡がりはますます広範囲になり、神戸では強力なパートナーができる予定です。

オバマさんが「変化」を示しています。何をしてもらおうのではなく、何をするのかを考えようなんてことも言っているようです。格好のいい人は何をいっても格好がいいですね。私達の仲間が、最近メールを始められました。失礼ながら、ご高齢の部類に入る方です。これはすごいです。パソコンの操作方法を聞くために周りとの会話も増えると想います。私達の活動は、できないことをできるようにする。夢を夢で終わらせない。そんな活動にしたいと想います。私も変化します。まず禁酒だ、いや節酒か、うーん、休肝日を設けるぐらいから始めよう。

### シンポジウム報告

11月22日に研究助成の一環として「千葉県発、障害がある人の後見支援をこう考えるーPACガーディアンズの経験と主張ー」と題したシンポジウムを行いました。プログラムなどはHP ([http://homepage3.nifty.com/mnagawa/#081122pacg\\_symposium](http://homepage3.nifty.com/mnagawa/#081122pacg_symposium)) をご覧ください。各地で権利擁護支援に活躍している方々のお話を1日で聞くことができる贅沢な内容で、おかげさまで定員を超える方々においでいただきました。

「後見をつけて社会に出て行く」や「親亡き後じゃなくて為すべきことを今しよう」「親が思うほど子は親亡き後を心配していない」「(後見に)関わる人が問われる」などの心に残る発言が多く聞かれました。現在、報告書として整理しています。改めてご案内しますのでお待ちください。

副理事長 筑波大学 名川 勝

### 専門家委員会の活動をご存知ですか？

PACガーディアンズには、専門家委員会という組織があります。

構成メンバーは、佐藤理事長、名川副理事長他、司法書士、社会福祉士、精神保健福祉士、税理士、社会保険労務士などといった肩書きを持った面々です。

法人や各人が対応している成年後見をはじめとした権利擁護事例・新規相談事例の検討、研修会の企画、講師派遣依頼への対応などについて話し合っています。委員会メンバーの勉強の場でもあります。

毎月1回の集まりですが、熱い会合です。窓口にはこだわりません。相談、依頼等うまく活用してください。

理事 社会福祉士 小川裕二



## ☆P a n d A - J 記念イベント☆

12月18日、なにやらときめく語感の「夜の赤坂」で、腰が引ける語感の「権利擁護」の集まり。この語感差が新鮮で、行って来ました「P a n d A - J」のNPO法人設立記念イベント…。

あのかっこいい表紙を飾ったご本人たちの話を聞きました。米田光春さんの米田節が胸を打つこと。地域生活に移って「現実を肌身で触らせてくれたのがこの人(支援者・牧野賢一さん)」。地域生活支援は生易しいものではないんだと思ひ知る言葉が次々。

後半は全国の福祉食品の旨いもの展で交流会というお洒落な企画でした。

理事 千葉市育成会 久保田美也子

## コミュニティフレンド(CF)

先日、11月のシンポジウムに参加した方と、新聞の記事を読んで下さった方3人からご連絡をいただき、ご本人とお母様のお話を伺いました。お話も上手な10代、20代の若い方たちで、就労されて、社会に出ているはずなのに、友達は出来にくいという事実を知らされました。

どのお母様も安心できる友人関係?を求めていることがよくわかります。

コミュニティフレンドの必要性の広がりを感じます。 CFコーディネータ 松本智子



### 特定非営利活動法人 PAC ガーディアンズ

理事長 佐藤彰一

事務局 船橋市西習志野4-24-17

TEL 047-465-9022 FAX 同じ

E-mail [pacg@liasonlc.com](mailto:pacg@liasonlc.com)

### ☆市川手をつなぐ親の会

1/15、杉浦ひとみ氏による成年後見勉強会では、権利を行使するはずの選挙権がないのはおかしい、回復するためにはどうしたら良いのかと熱心な話し合いになりました。

### ☆千葉(NPOひだまり・父の樹会)

1/18、第3回成年後見セミナーで、久保田美也子氏から親の立場から記録に残すことの大切さを語っていただき、「この子の記録」の説明をしました。3/末に差替えできるクリヤブックにCD-RWを付けて配布します。

### ☆流山市手をつなぐ育成会

昨年12月の障害者週間に障害者が安心して暮らすためには身近な人たちの理解と支えが必要なることをわかってもらうために、市民の方に呼びかける企画をしました。また、「親心の記録」の作成に向けての取り組みを始めます。

### ☆習志野市手をつなぐ育成会

2/10「安全で安心な生活をするために」と講座を開催。講師に堀江氏、キャラバン隊「空」の公演、習志野警察生活安全課よりコメントがあります。興味のある方ご参加ください。

### ☆船橋市手をつなぐ育成会

8月『成年後見人等要請講習会』を開催。小川裕二氏の講演がとてわかりやすく、『後見人はぜひ社会福祉士さんに。』という感想も。コミュニティフレンドも身近に感じられる内容でした。

### ☆松戸・NPO法人しぐなるあいず

船橋をお手本にして素晴らしい「サポート手帳」を印刷中。乞うご期待!しぐなるあいずは21年度、松戸市との協働事業を委託される予定。身上監護をテーマにしたワークショップを行います。ご支援、ご協力をお願いいたします。

### ☆東総地区自閉症協会

1/8 社団法人東総権利擁護ネットワーク準備会と合同で朝比奈ミカ氏を講師に招いて学習会「成年後見制度を考えるポイント」を実施しました。

1/15 香取特別支援学校PTAと共催で将来、成年後見制度利用が考えられる保護者への周知として、小川裕二氏に具体的に説明をして頂きました。